

国際交流委員会 基本方針

国際交流委員会 委員長 山田 慎也

近年、新型コロナウイルス感染症が未だに終息をせず人と人との距離を保ちながらの生活を強いられる中で一般社団法人佐賀青年会議所は1985年の姉妹JC締結の正式調印から38年間続いてきた社団法人台南市新營国際青年商會との交流が過去3年間リモートでの開催になり入会歴が浅く多文化の人々と触れ合う機会がないメンバーも多く在籍しています。その中で一人ひとりがより主体的に交流の参画意識を持つ必要があります。

まずは、諸先輩が38年間に亘りつないでこられた友好関係を大切に感謝しこれからも絶やさないようにするために、入会歴が浅いメンバーも新しい角度からつながれるツールを活用し通年での交流を図り各メンバーが言葉の壁を越えた新たな友好関係を築くことで、姉妹関係を積極的に強化していきます。そして、本年度に佐賀の地へ新營国際青年商會の方を受入するために、佐賀青年会議所メンバーの一人ひとりが協力し佐賀の文化や地域の良さを発信することで、主体的な国際交流の機会につなげていきます。さらに、この機会を互いの交友関係の基にして市民への認知を深め多文化共生の一助となるために、佐賀青年会議所が締結している団体とともに企画し市民を巻き込んだ多文化交流事業を構築することで、国際的な文化・伝統を共有する場を提供いたします。また、12月に卒業生を華々しく見送るために、過去の開催時の状況・情報を収集し企画・運営を行うことで、円滑な卒業式を遂行します。そして、第74回全国大会に向けて開催意識を高めるために、各事業への参加率を増やし佐賀青年会議所メンバーが一丸となることで、2025年の開催へとつなげていきます。

グローバルな活動を行い交流の大切さを再認識して新たな出会いや知識の発見をし、メンバーの一人ひとりの成長や後世の交流のスムーズさにつなげて「獅子搏兔」のように決してあきらめることなく妥協せずに、何事にも全力な気持ちを胸に、明るい未来を目指します。

[事業計画]

- 1.新營国際青年商會との交流(通年)
- 2.新營国際青年商會の受入(10月)
- 3.例会の企画・運営(3月、5月、12月)
- 4.ASPAC(ジャカルタ)参加者への支援(5月)
- 5.国際事業(10月)
- 6.卒業生を送る会(12月)
- 7.全国大会に向けての取り組み(会場、HQの調整)
- 8.会員拡大 拡大目標 各委員会6名(全体30名)